

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年08月26日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部・国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	3年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	3年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年08月23日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：1月上旬～5月上旬 2学期：8月中旬～12月中旬 3学期： 4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	45,057人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6383	円	
宿舍費	6625	円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	68	円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	約 330	45495 円	形態：
渡航旅費	約 1569	215892 円	
ビザ申請費	510	円	
雑費		350000 円	
その他	2745	円	旅行
その他		円	
合計	18230	円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京 目的地：サンフランシスコ 経由地：
 復路 出発地： 目的地： 経由地：

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社：JAL
 料金：2158925 円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： 料金：
 復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

旅行代理店（店名： ） インターネット（サイト名：Gotogate） その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

学生寮（寮の名前：I-house） アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋（同居人数 ）

3) 共有部分

バス トイレ キッチン（自炊可 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

大学のホームページ

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

ミールプランが付いているので便利です。部屋は個室で良かったと思っています。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）

なし
あり（治療を受けた場所： ）

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 （例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）

なし
あり（問題の内容や相談した人等： ）

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

別行動しない。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

寮内ではWifiをつかえた。月5Gのデータプランを使っていたが毎回足りなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

日本で外貨預金口座を開設し、日本から送金してもらった。現金とクレジットカードも使った。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特になし。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）

渡航前にクレジットで支払った。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか? なし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Introduction to Public Speaking	パブリックスピーキングの概要
科目設置学部・研究科	College Writing Programs
履修期間	SessionA
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 120 分が 3 回
担当教授	Lindsey Lanfersieck
授業内容	演説のスキルを学ぶ。テーマを決めスクリプトを書いたり、パワーポイントを作ったりし各発表を準備する。
試験・課題など	スピーチが 3 回(Informative Speech,Entertainment Speech, Persuasive Speech,)、毎回の課題
感想を自由記入	留学生が多い授業であり、先生も第二言語学習者に理解のある方だったため比較的楽な授業でした。発表する機会が多いため、英語だけでなく人前で話す練習にもなると思います。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Voice Class	ボイスクラス
科目設置学部・研究科	Music
履修期間	Session A
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	チュートリアル（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 90 分が 3 回
担当教授	Deborah Jackson
授業内容	歌唱の基本を学ぶ授業。英語の歌 1 曲、外国の歌 1 曲を自由に選び練習、一人ずつ指導を受ける。発声に関する理論的な授業も行われる。毎回の授業の前半は学んだ理論に基づいたテクニックを練習する。
試験・課題など	実技が 2 回（中間、期末）、レポート 2 回。レポートは外国の曲の翻訳と Sololist を一人選び分析するといった内容でした。
感想を自由記入	10 人程度の少数であったのでクラスメイトと仲良くなりやすい環境だったと思います。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Stress and Coping		ストレスと対処	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	SessionD		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Andres G Martinez		
授業内容	日常的ストレスの発達要因とその対処法を生物学的、社会的、認知的な面から学ぶ。		
試験・課題など	テスト2回（中間・期末）、レポート2回（中間・期末）、RPP テストはどちらも記述式。		
感想を自由記入	約100名の大講義ということもあり、授業の進め方自体は日本の授業と似ていました。授業内容も比較的簡単だったので楽しく受講できました。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Social Psychology		社会心理学	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	SessionD		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が3回		
担当教授	Sara M Gorchoff		
授業内容	社会の中での人の行動を分析する。関連する様々な実験と照らし合わせ行動パターンを学ぶ。		
試験・課題など	中間試験2回、期末試験1回、個人課題4つ、RPP		
感想を自由記入	自分は心理学に興味があったので、内容自体はとても興味深かったです。試験はオープンブックでしたが、ほとんどの問題が概念をちゃんと理解しないと解けないような問題だったので、試験の準備にかなりの時間をつかっていました。バークレーで受けた授業の中で最もためになった授業だったと思います。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
マイナビ、リクナビ
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
4年
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
サマーセッション中に就活をしている人もいたが、3ヶ月という限られた時間なので留学に集中することをおすすめします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEIC
	10月～12月	カナダの大学で語学研修、選考
留学開始年	1月～3月	ビザの取得など留学の手続き
	4月～7月	アメリカ渡航
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私が留学先としてカリフォルニア大学バークレー校を選んだ理由は大きく2つあります。まず、3 ヶ月という短い期間内にできるだけたくさんのことを学んできたいと思ったからです。カリフォルニア大学の中でもバークレー校は学生たちの学究の情熱が強く、競争の激しい大学だと聞き、刺激を受けたいという気持ちからバークレー校を選択しました。二つ目に、キャンパスが自然に囲まれた、ゆったりとした雰囲気であったからです。バークレー校はかなり田舎でアメリカの大学ならではのキャンパス感が味わえました。大学は非常にインターナショナルな環境でした。正規授業ではなく、サマーセッションということもあり、各国からの留学生が多かったです。驚いた点は、質問や発言を積極的にする学生が思ったより多かったことと、時間にルーズだった点です。寮は「インターナショナルハウス」という寮に住んでいました。名前からも分かるように、世界各国からの学生が住む場所でした。毎週水曜日にはコーヒーアワーといって各国の住民たちがイベントを企画しみんなで集まってその国の文化を体験しました。そのほかにも、インターナショナルハウスには寮の中に食堂が付いていて、そこも交流の場として活用していました。いろんな学生と暮らしていくうちに視野が広がりました。

私の場合、大学入学前から留学を考えていました。しかし、コロナで留学を諦めていたところ、トップユニバーシティというプログラムを見つけ、留学の準備を始めました。振り返ると、その時チャンスを逃さず頑張って留学に行けて良かったと思っています。なので、とりあえず留学を決心したら全力で頑張りたいです。

留学中は楽しいこともたくさんありますが、大変なことも必ずあると思います。どんなことがあっても柔軟に対応できるよう英語の勉強をしたり、現地への理解を深めておくことをお勧めします。